

伊藤ともこの議会報告



平成 29 年 12 月定例議会は、12 月 7 日～12 月 22 日まで 16 日間の会期でした。
議案 23 件、意見書 2 件、決議 1 件の審議を行い、全てが可決されました。

今年は健康と運動に心がけ、
町内移動は自転車を利用しよう
と思います！

小中学校で「先生が足りない」

今、全国の公立小中学校で、教員不足が深刻化しています。
福岡県の公立小中学校では、平成 29 年の始業式時点で、小学校 60 校で 75 人、中学校 8 校で 8 人の正規教員が不足していました。
那珂川町では、平成 28 年の始業式時点で、小学校で 4 人、中学校で 3 人の教員が不足していました。学級担任を優先的に配置するため、主に少人数指導等を担当する正規教員が不足している状況や、病気で長期の休暇をとる教員もおり、教員が不足する深刻な状態が慢性化しています。

学校現場は人手不足と過重労働

昨年、福岡県教員委員会から保護者あてに「教員免許を持っている方を紹介してください」との書類が配布され、驚きと心配の声がありました。教員の欠員補充は、教頭や主幹教務が授業を受け持つことでカバーをしている学校があるとのこと。欠員のカバーで、仕事量が増え、過重労働になっているのが学校現場の現状です。

教員不足の要因

教員不足の大きな要因は、「なり手」がいないことです。その背景には、少子化を見据えて、正規教員の採用を抑え、非正規（臨時採用）の枠を広げていることが要因の 1 つです。臨採の教員は、待遇が不安定な上に、給料が低いいため、なりたがる人が少ないのが現状です。

教育現場の改善のために

伊藤ともこは
「紹介議員」になり訴えました

教職員定数の改善及び義務教育費
国庫負担制度拡充に関する請願書

毎年、現場の声を受けた教職員組合から、
那珂川町議会に提出されています。
今回は、全員賛成で可決となり、意見書として
国に提出されました。

ネット那珂川は、子ども達の教育のために
諦めることなく、現場の声を届け続けます！



伊藤ともこの 12 月一般質問

① 中学校の制服について

知っていますか?? 入学前にこんなに負担がかかることを!!

例えば那珂川北中学校の場合

必要な制服を 1 枚ずつそろえた場合は、男子で、44,550 円。
女子で 54,450 円です。この他にもカバンや体操服など必要なものを購入すると 10 万円ほどの出費です。入学前準備金は 3 月に支給されますが、この制度に適用しない家庭では、かなりの負担になると考えます。

また、名札は刺繍されており、お譲りの場合は、刺繍を外して業者に持ち込み、600 円程度支払って新たに刺繍を入れてもらいます。お譲りにも経済的な負担がかかってしまいます。また防犯上の観点からは、取り外しが不可能な刺繍で、対外的に生徒の名前を知らせる必要はあるのでしょうか。

子どもの教育を受ける権利の阻害では??

人口の 7.6%、13 人に 1 人が LGBT 当事者と言われています。左利きや AB 型と同じくらいの割合で 1 クラスに 1 人か 2 人はいることとなります。女子であること、男子であることを強いられるのが制服です。性別による制服の着用を社会が強いる中、LGBT の子ども達は、制服を着ない、学校に行かないという行動で表現するしかないのです。制服は、経済的な格差に関係なく、学校に通えるように制定されたものです。その制服のせいで学校に通えないのでは本末転倒です。

“制服を着させることが目的ではありません”

目的はあくまで子どもが学校で教育を受けること、つまり教育を受ける権利を実質的に保障することです。

制服を変えるのは、子どもに教育を受ける権利を保障する大人の義務です。義務教育の義務は学校や教員、親が負っている義務です。

- ①保護者の負担軽減
 - ②防犯
 - ③子どもの教育を受ける権利の保障
- 3 つの視点から中学校の制服の緩やかな対応を求めました。

② 里山再生について

森林は地球の温暖化防止、土砂崩落の防止など私たちの生活に欠かせない重要な機能を持っています。面積の 73% を森林が占めている那珂川町は、住民の安全な暮らしを守る観点から、竹の拡大を食い止める具体策が必要であると考え、質問を行いました。

日本の文化に根付いていた竹製品が安価なプラスチック製品に替わり、竹の循環が壊れました。竹を悪者にすることなく、すでに糸島市が実現している竹パウダーの導入と公共施設への竹垣を置くことなどを提案しました。



竹プロジェクトの岩崎会長にお話を伺いました!

サポーター 会員募集

○サポーター会員 (500 円～3000 円/年間)

ふくおか市民政治ネットワークの活動は、議員報酬からの寄付と、皆さんの会費とカンパで成り立っています。ぜひ、私たちの活動を支援してください!

○ボランティアメンバー

ニュースを年 4 回発行しています。ご近所の方に配布してくださる方を募集中です。

